

●1分で見える世界景気／2018年8月末から見た2018年9月動向

※米中貿易摩擦、米国利上げ、地政学リスク、米国中間選挙が入り混じる中、秋までは各国ともガードを固めて（本資料では各国の枠の太さで表示）こう着状態か！日本は景気を維持できるか正念場！

欧
州

英国/EU離脱 交渉10月末期限 延長か？

・17年GDP+1.9%→+1.8%

・17年5月GDP+0.2%（前月比）

・政治混乱による南欧（イタリア、
スペインの10年国債利回り上昇

EU 貿易関税リスク

・2018年予想 GDP+2.1%

・8月にイタリア支援終了

・1-3月賃金上昇+2%

欧州中銀

・金融緩和10月縮小、年内打ち切り

・19年は利上げも視野へ

中国

地政学&貿易関税リスク

18年経済成長率目標 6.5%前後

※17年GDP+6.9%（昨年6.7%）

7月

・消費者物価7月 +2.1%（前年同月比）

※元下落、原油高

・固定資産投資1-7月+5.5%（同上）

※1995年以降で最低

※1-6月を下回る

・不動産開発1-7月+10.7%（同上）

※1-6月より加速

・小売売上7月+8.8%（前年同月比）

※6月より鈍った

・新車販売台数7月▲4.0%（同上）

下期は米国との貿易問題の影響
が表面化するか注目！

トランプ政権

米国

大型減税で個人消費や企業投資は増加と見込まれる

地政学&貿易関税&中間選挙リスク

高成長持続

4-6月GDP+4.1%

（1-3月+2.2%）

6月雇用+21.3万人、失業率4.0

FRB 利上げ 消費者物価も2%近辺で推移と予想

日本

地政学&貿易関税&災害リスク

GDP4-6月+1.9%

・消費復調

・猛暑の影響、災害の影響がどのようにでるかに注目

・安部首相、総裁続投の確率高い

→アベノミクスへの安心感

●日銀 2%物価目標達成時期まで金融緩和継続

①フォワードガイダンスの導入

②短期金利（-0.1%）、長期金利を0%へ誘導

③長期金利変動幅は従来の±0.1%から±0.2%を念頭に

④長期国債、ETF、J-REITの買い入れは柔軟に

新興国 通貨安広がる

●ブラジル/ストの影響が深刻、GDP目標+2.5%が揺らぐか

●インド/1-3月GDP+7.7%、成長加速、物価上昇を抑えるために利上げへ

●アフリカ全体/18年から19年+4.1%まで上昇と予想（アフリカ開発銀行）

●トルコ/リラ急落で利上げへ

●アルゼンチン/ペロ防衛とインフレ対策で政策金利+40%へ、効果は未知数

●イラン/17年GDP+3.5%（昨年+12.5%）で急減、地政学リスクが影響か？

緩和マネー